

五輪メンバーへ 猛アピール

女子アイスホッケー日本代表練習試合



志賀葵(左)、紅音姉妹

苦小牧工高との練習試合でゴールを守るGK近藤真衣(左)とDF志賀紅音



近藤真衣



小野粧子



小野、近藤、志賀姉妹

【苦小牧】来年2月の平昌五輪(韓国)に出場する女子アイスホッケー日本代表の「スマイルジャパン」は25日から28日まで、苦小牧白鳥王子アイスアリーナで合宿を行い、駒大苦小牧、苦小牧東、苦小牧工の男子高校チームとの練習試合を行った。十勝から参加の4選手は、五輪最終メンバー入りへ猛アピールした。

4選手はフルタイムシステム御影グレッズのFW小野粧子(36) 〓紀山〓とGK近藤真衣(25) 〓フルタイムシステム〓、帯広レディーズのDF志賀葵(18) 〓帯三条高3年〓と紅音(16) 〓同2年〓姉妹。4選手とも8月のカナダ、今月上旬のロシアでの強化試

合にメンバー入りしている。チーム最年長の小野は「タフな試合が続く中、いかに自分のパフォーマンスを維持できるか」と自身の課題を話す。一度は現役を退いたが、2015年に復帰し、初の五輪の舞台を見据える。「インターネット

で平昌の話題を見ると、いよいよだなあと感じる」。五輪最終予選最終戦(対ドイツ戦、2月・苦小牧)で五輪切符獲得を決めるゴールも入れたベテランは静かに語った。

チーム最年少の志賀紅音は高校生組も負けていない。紅音は「ディフェンスのサポートに自信がついた」と成長ぶりを強調、姉の葵も「積極的に声を出してアピールしている」と話す。共に生まれて初めての韓国行きに、若さを前面に出してアピールしている。

GKの近藤は3番手GKの返上に意欲を見せている。27日の練習試合ではフル出場し、0-8で苦小牧工高に敗れたものの、「だいたい、男子選手のスピードに慣れてきた」と手応えをつかんでいる。「GKの2人(藤本那菜、小西あかね)を追う立場だけど、いつでも準備ができています。何かあるか分かりませんがからね」と、闘志を燃やしている。

今回の合宿は25人が参加。23人の五輪最終メンバーはフィンランド遠征を行う12月中旬ごろに決める予定だ。スマイルジャパンの

山中武司監督(46)は「ど手を選ぶ」と話している。(有岡志信)